

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会報告書

平成29年6月28日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 守井秀龍

平成29年6月28日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
現庁舎建てかえに関する調査研究	継続審査	—

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会記録

招 集 日 時	平成29年6月28日（水）		旧アルファビゼン盗難事件調査特別 委員会閉会后	
開議・閉議	午前10時57分	開会 ～	午前11時32分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	守井秀龍	副委員長	石原和人
	委員	山本恒道		尾川直行
		橋本逸夫		田口健作
		津島 誠		掛谷 繁
		川崎輝通		立川 茂
		西上徳一		山本 成
		森本洋子		星野和也
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説 明 員	総合政策部長	佐藤行弘	庁舎建設担当官	尾野田瑞穂
	庁舎建設担当官	平田惣己治		
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	あり		
審査記録	次のとおり			

午前10時57分 開会

○守井委員長 お疲れのところいろいろと委員会を重ねてまいります、ただいまから市役所庁舎建設に関する調査特別委員会を開会いたします。

執行部のほうから報告願います。

○平田庁舎建設担当官 御説明に先立ち、本日急遽委員会の開催をお願いしましたところ、御開催をいただいたことについて、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

執行部としても早急にこの庁舎の件、方針決定をしたいということでお願いしたものでございますので、申しわけございませんが御理解いただきたいと思います。

それでは、お配りしております資料に基づき御説明をさせていただきます。

前回の委員会ではそれまでにいただいた御意見をもとに、執行部なりに事業費の縮減のための代替案をお示しさせていただいたと思います。本日はその代替案の中から執行部としての方針案を絞り込みましたので、御提案をさせていただきたいと考えております。

まずは、お配りしております資料のうちA3の横の紙が1枚あるかと思えます。これが本庁舎の面積について各案を比較したものでございます。前回でも大体の御説明はさせていただいたわけですが、改めてになりますがこの図の中で左端が計画の原案でございます。真ん中が面積減案の①、右が②でございます。面積減案についてはこれも前回御説明をしたとおり、①については庁舎の南側を1メートル引っ込めて幅を狭めるという形の縮減と、それから屋上の塔屋について面積を縮小しております。全体の面積が原案より465平米の減、約6%の減となっております。②は庁舎の東側の階段室の引っ張り部分を切り落として、階段は屋外階段とし、エレベーターやパイプスペースといったようなものは中へ押し込んで調整をするという案で、それからこちらも屋上の塔屋は縮小するような形にしており、合計で616平米、約9%の減ということになっております。このあたりは前回御説明させていただいたとおりでございます。

次に、それぞれの案の比較検討をした内容についてA4の縦紙1枚紙でまとめたものをお配りしております。庁舎規模についての方針検討結果という紙でございます。

まず、1番として面積減案の比較検討ということで減案の①と②について、それぞれの課題を箇条書きにしております。面積減案の①ですが、この案だと南側の窓際が狭くなってくるということで、1階ではお客様の待合スペース、2階以上は職員の動線が狭くなるということになります。それから、2階から上では窓際に文書収納のためのロッカーを配置するような予定にしているわけですが、この容量が小さくなるということがございます。そのほかの面は計画原案と同様でございますので、①案の場合比較的影響は小さいということが言えようかと思います。

続いて面積減案の②でございますが、こちらは東側の階段を屋外階段とすることで、天候の影響を受けるといったようなことがあり、恐らく職員の昇降はこの東側の階段が主になるのではないかと思います。やはり長期間使用することを考えると余り好ましくないといったことがあります。それから、東側の階段室の部分を切り落とすということで、この面が一面、平面的な面

になってしまって意匠上、原案や①案に比べるとちょっと劣るということが言えようかと思えます。それから最後に、これが一番懸念になるわけですが、諸室の機能が全てうまくおさまるかどうか、絵の上では何とかおさめているわけですが、かなりいろいろ共用部分のスペースが減っている部分もございますので、うまいぐあいにおさまり切るかという不安が残るといったようなところがございます。

それから、それぞれの面積と事業費についても、比較をした資料をつくっております。この資料の中で上の表、各案比較表の上の表の一番下の段、コラボ備前廃止案との併用というこの段の部分を見ていただけたらと思います。面積と事業費の比較ですが、①案と②案を比較した場合①案が42億1,500万円、それから②案で41億4,700万円ということで、①②を比較すれば、②案のほうが6,800万円ほど安くなってはいるわけですが計画原案が44億2,600万円ということで、計画原案と比較すると①案でも2億1,100万円ほどの減額ということになっております。ある程度の減額が、縮減が図れているということ、それから一方で、やはり庁舎を長期間使っていくようになりますから、そうしたことを考慮すれば少しでも機能に支障のないようなものにしたいということで、縮小を考えたいということから執行部とすれば①案を執行部案として提案させていただきたいということで考えております。

続いて2のコラボ備前でございますが、こちらのほうもいろいろと御意見をいただいた上で検討した結果、市民センターとか旧アルファビゼン再整備との機能の重複を避けるために別途案はもう取りやめとして、庁舎本体内の余裕のあるスペースの部分に一部、機能配置ができたということですのでそういう方向で考えようかと思っております。別途をやめるということですのでこれに伴う事業費の削減が2億5,900万円ということになっております。

以上から、執行部としては庁舎本体は面積減案の①案、それからコラボ備前については廃止案ということでこれを執行部案として御提案させていただきたいと考えております。これにより、事業費はトータルで計画原案に対して4億7,000万円の縮減となってきます。それから、今回提案をさせていただいておりますのは、いわば庁舎の外枠、フレームの部分それから面積を確定させたいというものでございますので、中の執務室とか内部の配置はまだこれから調整をしていく必要がございます。プロジェクトチーム等で検討していく予定にしておりますし、それから6階の議会フロアについても同様でございますが、今までにもいろいろ御意見いただいておりますが、これも事務局のほうと協議してまた今後詰めていくという予定でございますので御理解いただきたいと思います。

事業費について、4億7,000万円の縮減ということで申し上げたわけですが、縮減したとは言いながらやはり大きな事業費でございますので、今回のこの庁舎の事業に係る経費は今後の財政にも影響を及ぼすことになってきます。ずっとこのところ、財政部局とも協議をしてきていますが将来的な財政の推移というものを想定してもらっており、それによるとやはり起債の残高がふえるということで、今後数年間で経常収支比率、実質公債費比率が悪化することはもう避

けられないと言われております。厳しい財政状況になります基金の取り崩し等で何とか対応をしていくしかないということで聞いております。そういったことで財政面を含めいろいろ課題はあるわけですが、我々なりに今までいただいた、いろいろ御意見を踏まえた上で十分に検討した結果でございますので、何とかこの案で進めていきたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思っております。

○守井委員長 先ほど説明がございましたが、2枚目の予算を書いている説明は今ぐらいでよろしいですか。補足はありませんか。2枚目のA4のサイズの各種、各案面積集計とか細かい点もいろいろありますが、その辺の補足の説明はございませんか、よろしいか。質問に答えるようにしますか。

ただいま説明がございました、先ほどお話がございましたように、詳細についてはまた今後検討するというところで大枠の部分のところで面積縮減案、コラボ廃止というようところで検討していきたいというお話ですが、皆さん方から何か御意見、質問ありましたら。

○橋本委員 ただいまの担当官の説明はよくわかりました。それで、執行部はできたら面積減案①でやりたいということでございます。いろいろと私は言いましたが、結構コラボ備前の件でも、私たちの意を酌み取っていただいているからこれ以上もう余り申し上げません。ただ1点だけ確認したいことがございます。この中にいろいろな部署が入ります。全部入る部署の今現在の職員総数は正職、臨時合わせて何名ですか。何名のための器をこしらえようとしているのか。

○平田庁舎建設担当官 ざっくりの数字になりますが、全部足して300名程度予定しております。

○橋本委員 これができ上がったら300人がここの中で仕事ができるようにということで、それからの減員、減すということは考えてはいないということですね。

○平田庁舎建設担当官 当面はその300人で執務をしていく機能を確保するというで減ることは今のところ考えてはおりません。

○川崎委員 第1案でいきたいという話ですが、1階の原案に比べて市民の皆さんが窓口へ来るのに1メートル短くなっているが、もともとの廊下の幅は何メートルが1メートル減で何メートルになるのか。やはり1階は窓口で混雑するところだからできるだけ広いほうが、2階、3階の執務室というか2階、3階にはお客さんはめったに来ないと思うけど、窓口1階というのは非常に出入りが激しいところなのでやっぱり広々と廊下をとる必要が私はあると思うので、どうか、そこをまずお聞きしときます。

○平田庁舎建設担当官 細かく寸法が入ってないので。

○川崎委員 広いほうがいいので、私は1階の廊下を考えると第2案のほうがいいということと、もう一つ第2案のいいのは、今回イギリスの高層ビルで相当な方が亡くなられたわけですが、一つは室内の階段でいいですが、一つはやっぱり屋外の階段のほうが万が一の、火事が主ですがそういうことを考えると、屋外の階段という意味では安全性から考えると第2案のほうがいい

いのではないかと、それと第2案では1階窓口の廊下の幅は原案と同じですよ。その確認も含めてお答えをお願いしたい。

○平田庁舎建設担当官 単純に1階の窓口の前のお客様の待合スペースについては、計画原案と面積減案の②は同じということにはなっております。それから、階段についてですが、これもいろいろと考え方も分かれるところかと思えます。川崎委員が御指摘されるようにいざというときの避難階段としてということであれば、それはある意味屋外階段というのは非常に有効だろうと思えますが、通常の職員の動線として考えるとやはり屋外よりは屋内のほうがいいのではかという意見も多数ありますし、その辺が難しいところかと思えます。

○川崎委員 第1案の廊下は幾ら狭まっているのか。

○平田庁舎建設担当官 今つくっているもので、中の細かい数字まではうたっていないわけですが、大体スケールで見ると恐らく五、六メートルぐらいの幅だと思います。それが単純に1メートル狭くなるという感覚です。

○川崎委員 最低4メートルあると理解したらいいのか。

○平田庁舎建設担当官 そうですね。

○川崎委員 出入り、人の多いところでできるだけ、せっかくつくるのに何か狭っ苦しい庁舎だなあというイメージが最もマイナスになると思うので、入った玄関から少しリラックスというか待ちができるようなところも必要だろうと同時に、廊下も窓口へ直接座って相談とかというケースもあるわけですよ。待合でしている人がすぐ後ろで、近くだと物も言いにくいとかいろいろあるわけです。人の出入り、動き、それから待っている人を考えても、できるだけ広くとるほうがいいので、私はどうせ縮小するなら第2案のほうが良いと、職員が窮屈な仕事場にはなるでしょうが、せっかく縮小するのに6%じゃなくて9%、1割近い減のほうが私は望ましいし1階の廊下のことを考えると、2案のほうがベストな感じが図面上はしております。

○平田庁舎建設担当官 御意見を踏まえて検討させていただきたいと思えます。ただ、お客様の待合のスペースは①案のほうでもある程度調整の余地はあるのではないかと思いますので、例えば執務室のスペースを席の配置等を考えることで、カウンターを押し込むとかといったようなことも可能かと思えますし、その辺は御意見を踏まえてまた検討したいと思えます。

○掛谷委員 私は最終的には1案でいかざるを得ないと思っておるが、これを見て。まずは、塔屋の縮小、円になっているところの部分の確認をさせてください。塔屋の縮小が100平米少なくなっています。これは倉庫みたいなとか上のクーラーの取り付けみたいなそういうものだと思うが、この内容をまず教えてください。この縮小差で大丈夫なのか、何だったのか。

○平田庁舎建設担当官 もともとの原案でこの塔屋の部分、階段とは別に100平米ほどスペースとっていたわけですが、特に限定されてこれでないといけないというのではなく、例えば防災無線の機器類を置くとか、場合によっては倉庫にするとか、フレキシブルに何か活用できるようにということでスペースをとっていたわけですが、あえて落とそうとすれば落とせるからとい

うことで減案ではそこを落としているということでございます。

○掛谷委員 了解、それは要らないと思います。それから、1メートルほど幅が小さくなっているのもこれはしょうがない、コンパクトにしていくという意味ではやむを得ないかな、職員の皆さんが永続的に、永年にわたって勤めていく部署なので、狭くなるについてはこれは職員の皆様が我慢しないといけないということで、協力ということで、それは我々議員というよりもむしろ職員のほうが迷惑というか大変だと思うが、やむを得ないと思います。

コラボ備前が結局のところはもうないということですね。もともとコラボ備前については、資料2でいいのがあるわけです。これはまず1点、市民からという要望の中で最初は設計に入った、どういう各団体や市民の声はどの辺から上がってきてこういうことになったのか、そもそものところを教えてくださいのと、これを見るとすごい市民共同スペースの会議室みたいなものがあるし、多目的室、回廊のギャラリー、これ豪華ですが、どこからか。2点目にはこういうところまで要求しておったのかどうかを教えてください。

○平田庁舎建設担当官 まず、コラボ備前を計画した経緯ですが、もともとは我々担当が内部で考えていた基本構想といいますか、コンセプト、以前にもお配りをしたと思いますが、基本方針としてたしか6本ほど柱のある中の一つに市民の交流拠点となるような市役所にするといったものもございまして、そうしたものを実現するのにどうするかといったときに設計業者を決める際、プロポーザルをやったわけですが、その中でそうしたこちらの基本方針を参加業者に投げかけをして、それに対して提案していただいたと、それで実際に契約業者は山下設計と丸川設計のJVで決まったわけですが、そちらがこちらの投げかけたテーマに対して回答といいますか提案をしてくださったのがこのコラボ備前の原形だったわけです。ただ、当初出てきたものはもっと規模の小さなものだったわけですが、それをベースにしていろいろと今度はこちらなりに外で市民の皆さんから御意見をお聞きしたと、例えばワークショップでの御意見とか、中学校、高校も回って御意見をお聞きしたのと、意見聴取会のメンバーの方も個別に回らせていただいたりとかといったようなことで御意見を伺う中で、そうした市民交流の部分に対しての御意見というのが一番多かった部分です。本庁舎自体は行政の機能がどうかというようなことはなかなか一般の人では理解しにくい部分だと思いますし、やはり市民の方から御意見をいただきやすい部分だったということもあって、市民交流のための部分、市民がいろんなイベントができるようにとか市民の作品を展示できたりとか、あるいはいろんなショップ、物販の販売ができたりとか、それからコンビニとか売店といったようなもの、カフェ、レストランといったようなさまざまな御意見が出てきましたので、そういったものを集約した形で最終的にはコラボの計画ができ上がったということでございます。

○掛谷委員 わかりました。しかしながら、今般のいろんな財政的に厳しいという意味では市庁舎の中に取り込んでいくというのは、やむを得ないかなと思っております。2つ意見を言わせてください。

1つは市民の皆様、高校生の皆さんとか中学生はほとんど来ないと思いますが、市役所に来るのは用事があるわけですね。市役所に長くどまってじっとしておきたいというのは議員でもそうはいないです。用事が済んだらすぐ帰る。ですから、大事なのは市民窓口という1階のところの部分が何か爽やかで癒やしがあって、ちょっと待っていてもいいなという雰囲気、プラス自動販売機とかカフェみたいなちょっとしたものがあるとか、そういうギャラリーをすとかイベントをすとか、そういうものはまた違うところで、図書館でそういう機能を果たせばいいと思う。言いたいことは、コラボ備前の中のほんのごく一部、市民が来たときに癒やしを感じられるようなそういう環境の居場所をつくってあげればいいのではないかと、それぐらいにとどめておけばいいと、交流拠点、市民活動の拠点であるとか、ここにあるようなミニコンサートを開くとか生徒の学習の場としてという会議室みたいな多目的イメージを書いているが、それは図書館機能のところかもしくは、議場をそのような多機能的にできるようなものにしてあげれば、それが可能だと思う。結論を言えば、①でいいが、市民窓口業務のところはそういった空間に仕上げていただきたいと思っておりますが、どうでしょうか。

○平田庁舎建設担当官 ありがとうございます。御意見を踏まえ検討させていただきたいと思えます。

市役所というところは、それ用の用事だけ済ませば長くいたいところではないと言われれば、従来は確かにそうだったのではないかとはいえますが、そういうところを少しでも変えるようにといいますか、市民の皆さんが集まりやすいような環境にしたいというところも一つの今回のコンセプトでしたから、そういったところからもコラボ備前という発想が出てきたわけですが、その辺は事業費との兼ね合いもありますからやむを得ないというふうには思います。そのかわり1階、2階のエントランスといいますか、スペースの余裕のある部分がございますので、そういったところで幾らかでもそうした機能を確保できればということで検討したいと思えます。

○守井委員長 ほかに御意見ある方。

○尾川委員 2点ほどあるが、1点は、この案はこれでいいと思うが、地元の製品のれんがとか備前焼とか、コラボがなくなったら装飾するところはなくなるという予想はしているが、地元の耐火物の会社がそんな安物れんがをつくるということはなかなか大変、つけてくれるかどうかというのはわからないと思いますが、ぜひ地元の一番の産業ですから、そういう面で生かしてもらいたいということと、もう一点は、あるところまで固まってきたら市民に対しての説明の方法どうPRしていくのかということを目に何らかの方法をとって、意見聴取会の意見も集約していると思うので、そういったところでこういう形になってきたという説明をぜひ早目にやってほしいと思うが。

○平田庁舎建設担当官 備前焼とか耐火れんがといった市の特産品は必ず活用したいというふうを考えています。コラボ備前がなくなるとしても本庁舎のほうでもいろいろと使い方があると思えます。壁面全部は難しいかもしれませんが、例えば1階の外壁だけとかエントランスの内装に

とかその辺は考えれば使い方はあると思いますので、検討していきたいとは思いますが。

それから、これまでの経緯、経過これからのことについての市民の皆さんへの説明ですが、当面ここでもし方針が確定できれば、まずは先日も一度開催をしたが、意見聴取会ということで各種団体の委員に寄っていただいて会議をしたいと、それから一応8月ごろの予定ですが、パブリックコメントを実施したいと考えております。これで市内全域、市民の皆さんが対象ということで御意見いただけるというふうに考えております。大体そのようなことで市民の皆さんへの説明は考えております。それから、あと片上の中でも特に塩谷地区の町内会が地元ということで、これから事業を実施するとなれば工事が始まることとなりますから、そういった部分でいろいろ御迷惑をおかけしたりといったようなこともあろうかと思っておりますので、塩谷町内会については別途また工事の説明会等はしたいと考えております。

○守井委員長 皆さんよろしいか。ほかにありますか。

○川崎委員 私、ますます第2案がいいと思うが、屋外の階段というのは安全性も高いし、気候がいいときは当然そういうのを使って日本の四季をしっかりと楽しんでもらうのも屋外の空気を吸う意味でもいいし、雨のときだけは表の階段なりエレベーターを使っていただければいいということと、将来職員もふえるようなことはなく減っていく予定ですが、第2案でいっておけばもともと第1案にあるような出っ張りで階段とごちゃごちゃとつくっているようですが、こういうのも必要性に応じて屋外で簡単な鉄骨か何かでやっておけば、取り外してここへプラス、もとの原案に近づけるということもできるわけですから、私は第1案のように建物それ自体を1メートル引っ込めて市民が窮屈感を持つよりは、2階以上で職員が少しでも広々と仕事できる意味では第2案のほうがいいと、それと屋上も塔屋の縮小と書いていますが、当然屋外の階段であればもう屋根をちょろっとすればいいだけで、塔屋がゼロという考え、40平米残るという考え方をしていますが、40平米もないものと捉えても間違いはないのではないかなと、屋上へ上がる階段だけつくればいいのであって。日常的には上の屋根がなくていいわけで、雨が降ったときにわざわざ屋上へ上がる人はいないと思うので、そういう意味でも第2案のほうは減額率が6%から9%ということで、さっきの本会議でお金がないと言っている割には第1案がいいという意見が多いというのは、私には納得できないと。どうせやるなら9%ぐらいの減案にして、必要性に応じてできたらプラス出っ張りを将来どう変わるかわからない、特に将来性の中では和気町が備前市へひつつくのか、赤磐市へひつつくのかそういう議論もありますので、原案の少し出っ張りをなくして9%の縮減が一番望ましいというのはますます私は、どうも第2案のほう縮減率と将来の増改築もより可能なので、縮減するなら第2案でいってほしいということを改めて言っておきたいと思えます。

○守井委員長 ほかの方から何かございますか。ありませんか。

○尾川委員 今、外階段がいいという意見があったが、私は外階段というのは余りよくないという考えを持っている。あえて、反対意見といえばあれかもわからんです。私は社屋に住んでいた

ことあるので、今安全性の問題で防火とか防災とかという問題からしたら適当かもわからないが、本当そこが職員のほとんどの通路になるわけですよ、そうしたときにやっぱり雨がかかって1枚ドアになったりして、要するに囲った形の階段のほうが、その辺は設計士によく聞いてもらったりして、私はそういうのに住んだことある、経験からしたら、外階段、別にもう一つつくるというなら別として、それを通常職員の通路にするということを考えているなら、きちっと囲った中での、インにしとったほうがいいと思います。

○守井委員長 回答できますか。

〔「委員長、きょう決めにゃあかんの」と呼ぶ者あり〕

できれば。

ほかにございませんか。

〔「よろしい」と呼ぶ者あり〕

よろしいか。階段が外にあるのと中にあるの違いぐらい……。

〔「いやいや、経費が違う、全然。3%は大きい。6%と9%じゃえらい違い」と呼ぶ者あり〕

1案か2案かという話が出ているが、今後の期間も余りないということで、一応の方針を決めてそれで動いていかなければいけないという話も聞いておるので、皆さんの御意見の全体集約をしていきたいと思いますが、いかがですか。

皆さんからの決をとるようなものではないかもしれませんが、ちょっと御意見を参考までに聞きたいと思います。

執行部から減案1の、ここに文章に書いてあるような形で面積減案1プラスコラボ備前を廃止案として進めたいという提案ですけど、皆さんいかがでしょうか。

よろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、とりあえずこれで進めていただくということで議会として委員会として方針を決めさせていただきます。ということでよろしく願いいたします。

細かい点については、また皆さんから御意見を、できるだけその意見を救済していただくようによろしく願いいたします。

〔「ありがとうございます」と平田庁舎建設担当官発言する〕

以上をもちまして調査特別委員会を閉会といたします。

御苦労さまでした。

午前11時32分 閉会